

# ゆうあい YOU★I

第68号

発行日 平成26年3月20日  
発行 御殿場市国際交流協会  
御殿場市役所内  
TEL.0550-82-4426  
編集 広報部会

増刊 ゆうあい特集

国際理解講座

ジョー・パワーズ

## Joe Powers ハーモニカ コンサート

in ごとんぼ

平成25年12月8日(日) 御殿場市民交流センターふじざくら 交流ホール



御殿場市の姉妹都市ピーバートン市から、世界的ハーモニカ奏者のジョー・パワーズさんをお迎えして、ハーモニカコンサートが開催されました。ジョーさんは2006年、2008年にも同市でコンサートを開催しており、今回が3回目となります。

「ハーモニカ同好会 たんぼぼ」さんの演奏で幕を開けたコンサートでは、タンゴやブルース、クラシックなど幅広いジャンルの曲が演奏され、来場者はハーモニカの艶やかな中に力強さや哀愁、優しさを含んださまざまな音色に引き込まれていました。

また、ジョーさんの奏でるタンゴのメロディにのせて「御殿場タンゴ」さんによるアルゼンチンタンゴのダンスを楽しみました。最後はジョーさんと「たんぼぼ」さんのハーモニカ伴奏に合わせ、会場全員で「ふじの山」を合唱し、コンサートは大変盛り上がりしました。



### 富士岡小・朝日小 県立特別支援学校を訪問

朝日小での演奏会



富士岡小給食風景



#### ジョー・パワーズさん プロフィール

- 1978年 アメリカ・オハイオ州で生まれる 生後19ヵ月でハーモニカに親しむ
- 1992年 14歳でロックバンド結成 ハーモニカとボーカルを担当  
オレゴン大学で作曲を専攻 クロマチックとダイアトニックの奏法を研究  
アルゼンチン・ブエノスアイレスで1年半タンゴを勉強
- 2005年 世界ハーモニカチャンピオンシップ ダイアトニックジャズ部門 4位
- 2008年 クリスタルハーモニカコンテスト クラシック部門 優勝
- 2013年 ポーランドや中国で演奏

ブルース、ロック、フォーク、日本伝承曲などオールラウンドのジャンルで演奏活動を展開。また、世界一、二を争うタンゴ・ハーモニカ奏者として知られ、アメリカでは唯一のプロ・タンゴ・ハーモニカ奏者である。





# GIA 国際交流フェア2014

1月13日(月) 市民会館 小ホール

今回は日本を含め12か国が参加しました。前半は、それぞれの国の参加者が手作りの料理を販売し、来場者は世界の文化を感じながら、国際色あふれる料理を味わいました。ボランティアとして中学生24名(御殿場中・原里中・西中・富士岡中)と御殿場西高生7名が参加し、料理の販売などのお手伝いをしてくださいました。後半はタップダンスとフラメンコのパフォーマンスが行われ、会場は大変盛り上がりました。また、社会福祉法人ステップワンからも出店していただきました。協力していただいた皆様方、ありがとうございました。



フィリピン

マカロニスープ、ペコなど



ネパール

キーマカレー、サモサなど



中国

シューマイ、肉まんなど



ブラジル

コシニャ、エスフィハなど



カナダ

パシフィックサーモン



エミスタップダンス教室のみなさん

田代フラメンコ教室のみなさん



韓国

のりまき、トッポギなど



ボリビア

手作りナチュラルチーズなど



ゴミを減らすためにリユースの食器を使いました



アメリカ

ピザ、テキサススタイルチリ



アルゼンチン

エンパナーダ、サンドイッチ



トルコ

ピラフ、ケーキなど

## フィリピン台風被災者支援募金

当日会場では、昨年11月に大きな台風被害を受けたフィリピンを支援するために募金を行いました。参加者や来場者からの募金と、GIAからの寄付を合わせて、62,307円になりました。全額をフィリピン共和国大使館へ送金させていただきました。

協力してくださった皆様、ありがとうございました。



日本

たきこみご飯

2月28日現在、御殿場市には42ヶ国1、731人の外国人が住んでいます。





# 私が思う

# 国際交流・国際貢献

〈寄稿集 発行にあたって〉

御殿場市国際交流協会 会長 秋山 信泰

平成25年度も期末を迎え今期最後の広報となりました。市民の皆様には平素より国際交流協会に対し深い御理解と御支援を頂き衷心より御礼を申し上げます。

さて、期末広報に「私が思う 国際交流・貢献」についてのテーマにて特集を発刊することとなりました。市長、教育長をはじめ、協会賛助団体の代表者等に寄稿を御願ひし快諾を頂き、ありがとうございます。貴重な御意見を市民の皆様にご紹介致します。

わが国は島国であればこそそのメリット、デメリットが存在致しますが、地続きの国境を有した世界の国々と比較し、かなり異なった文化、心構え、気質が醸成されてきたと思います。

現在は文明の利器が発達し、海に向こうとも瞬時に会話が出来ますが、顔を合わせてデリケートな表情を読み取りながらのコミュニケーションには至りません。日本を取り巻く様々な出来事は、常日頃の対面交流をもって真の国際平和を祈願する想いがあります。日本の良さ、独自性を発信しながら協会も微力ではありますが、学びの提供をして行きたいと思えます。

今後共によりよく御指導、御協力のほど御願ひ申し上げます。

## 私が思う国際交流・貢献について



御殿場市市長 若林 洋平さん

情報・通信や交通の分野での技術革新により人や物の流動化も進み、またインターネットの普及により世界中の情報をリアルタイムに知ることができるようになったため、外国が生活の中に身近に感じられる時代になりました。

このように国際化社会が進むなか、昨年、富士山が世界文化遺産に登録されたことで、より多くの外国人の方が本市を訪れることが期待されるとともに、今後は私達の生活の中でも外国人の方との交流が増えることが想像できます。

本市にも1,800人近い外国籍の方が生活をされていますが、外国人の方との交流を行う上では言語や国籍、人種や文化、住んでいる環境が異なるため、最初から相手の全てを受け入れることは難しいかもしれません。しかし、お互いの共通点を見つけ歩み寄ることで、信頼関係が築かれ友好が深まるものだと思います。貴協会が発行していますこの機関誌「ゆうあい」の名のとおり、あなたとわたし、友情と愛情、つまり人と人、心と心の交流が大切であり、「自分を知ってもらい相手を知



ること」これこそが国際交流だと思えます。

また国際貢献という観点からは、飢餓で苦しむ発展途上国を支援したり、日本の技術、食、文化など様々な分野において世界中で日本人が活躍し貢献をしています。身近な所でも貢献はできると思えます。例えば食べ物が無駄にしない、無駄に消費しないよう心がけることも一つの貢献だと思います。世界に目を向け状況を知ったうえで、いま私達に何ができるのかを考えて行動することが大切だと思います。

このような市民の皆さんの交流や貢献は、確実に本市の国際化につながっていきます。今後とも貴協会の活動に大いに期待するところですが、本市としても国際感覚豊かなまちづくり・人づくりに努めるとともに、皆様と力を合わせさらなる発展を目指して参りたいと思えます。

## 御殿場市の個性と魅力の創出を

御殿場市商工会 会長 林準さん



国際交流・国際貢献という国際協力は、人それぞれに捉え方が違い、協力の仕方も多様です。日本の各地域や各地方自治体が、交流や貢献といった国際協力の事業を行うことは、今では珍しいことではありません。何をもちつて協力が結びつけて行くかは、その土地や産業といった立地的な環境や、その地域の特徴を生かした地域性など、さまざまな方法や手段により、協力とする活動が日本中で見られます。

具体的な国際協力は、市民レベルですべきこと、行政がすべきこと、また、どうしてもしなければならぬことなど、それぞれの視点と判断に立って仕分けをする必要があります。国際協力をするということは目的ではなく、一つの手段であると考えます。

当市で行う様々な事業活動は、結果として、御殿場市の恵まれた環境の中で、より住みやすく、個性と魅力あるまちになることが、事業や活動の証しとなると思っています。

そういう意味では、今日のグローバル化の潮流の中で、知性と気品に

満ちた活力ある国際文化都市として、御殿場市が国際協力を推進していくことは肝要と考えます。

日頃より国際協力は、人と物と金と情報が国境を越えて交流することと感じています。グローバル化が進展した今、対外的には外国との交流や交際、地域国際協力、対内的には多文化の共生社会の構築と言えらると思います。外国との交流や交際は、伝統的な姉妹都市交流がその代表的なものです。御殿場市は現在アメリカのチェンバーズバーグ市とピーバートン市と姉妹都市の提携をしています。

グローバル化の進展で、姉妹都市交流以外にも国際交流の機会が増え、市民、行政が一体となって輪を広げていくことはすばらしいことであり、御殿場市の発展にもつながっていることと信じています。

富士山世界文化遺産登録、2020年の東京オリンピック開催、同時に新東名高速道路の整備が進行する中、御殿場市は、国際交流を推進する市として、恵まれた環境にあると思えます。この時に御殿場市を更に住み良いまちとするために、国際交流は重要であり、外国人を良きパートナーとして、さらに住みやすい御殿場市を作っていくことを願っています。

御殿場市をより住みやすいまちとし、御殿場市の個性と魅力を創り出し、御殿場市全体を活性化させることが、御殿場市の国際交流、国際協力、多文化共生の拠点づくりとなると思えます。御殿場市から世界へ、世界から御殿場市へと、国際交流の輪が更に広がることに期待します。

## 「国際貢献」「国際協力」は日常生活から

御殿場農業協同組合代表理事組合長 杉山正一郎さん



世界には食糧、医療、教育を十分に受けることができない国や人々がたくさん存在します。「国際貢献」「国際協力」と聞きますと、国と国との活動、国際ボランティア或いは募金などと大きな活動と思いがちですが、実は日常生活の中で誰にでもできることがあります。



J Aの職場では仕事柄たくさんの郵便物が届き、その使用済みの切手を回収することも国際貢献のひとつです。またJ A役職員会やJ A関係組織団体の協力を得て、エコキャップやベルマークの回収もしています。更に不要になった衣類などの回収に協力をしています。このような行動が、他国の方の命を守りまた自立を支援することにつながっていると考えております。「一人の行動が世界の誰かの幸せにつながる」こう考えると、誰もが国際貢献できる機会があるのです。

管内には仕事や留学で一時的に、或いは家族とともに定住する外国人が大勢いらっしゃいます。私たちは自らが正しく伝統文化を理解し継承すると同時に外国の方たちにも紹介し、共有していくことが大切ではないかと思えます。食文化においては、当地の食材や味に興味を持ち、そして郷土料理を楽しんでいただきたいと思えます。

近年の国際化に伴い、今後も外国の方々とコミュニケーションを図ることはますます大切になってくるでしょう。「ふじ山教室」「英語スピーチコンテスト」「語学講座」などの運営をはじめとする、地域の国際交流振興のためにご尽力されているG I Aのますますの発展を祈念いたします。



エコキャップの回収活動

## パンフレット作成と在日外国人の御殿場ガイド活動

御殿場市観光協会 会長 勝又敬夫さん

近年、インターネット等の発達とともに、海外の方との交流も身近になってきました。

御殿場市にはキャンプ富士(米軍基地)もあり、外国人を見かけること

が多い街でもあります。そして多くの在住外国人や二世・三世の方々が身近におり、地域にも密着しております。

また、御殿場市は、世界遺産富士山の麓なので夏のシーズン中には富士登山、通年ではアウトレットや平和公園などに多くの外国人が観光に訪れる国際観光地でもあります。

当観光協会では、この御殿場市へ訪れる外国人をどうおもてなしするか、そして喜んでいただき、来てもらえるかということを考え、絵やイラストを入れて御殿場市を紹介するわかりやすいパンフレットを作成しております。

また、多くの在住外国人の方がいるので、その方々に御殿場ガイドをしていただければ、かなりコミュニケーションがとれるのではと考えております。私たちはこの国で生まれ育ったため、訪日外国人の方々が、何に困っているのか理解が足りないと思います。言葉の違い、文化や食文化の違いなどで、なかなか地域に馴染めなかったり、偏見もまだまだあったりするようなので、活躍できる場所を考えてみても良いのではないのでしょうか。

世界には、未だに戦争をしている国もあります。何の罪もない人々が犠牲になったり、医療不足で苦しんだりしている人々が大勢いますが、支援団体、関係団体等との情報交換のパイプ役として御殿場市国際交流協会には、尚一層ご尽力を頂ければと思います。



富士娘と観光協会職員



## 日本人の姿勢と誇りを示す



一般社団法人御殿場青年会議所理事長 永木 栄太さん

私達はこの御殿場市・小山町の地域を拠点に、20歳から40歳までの青年が相集い、明るい豊かな社会を目指し、地域の活性化並びに青少年の健全育成を軸に活動しております、一般社団法人御殿場青年会議所と申します。

私達はこれらの活動の一環として今まで、国際的交流の必要性に重点を置いた事業を展開して参りました。この御殿場市・小山町に在住・勤務しているいろいろな国の外国人をパネラーとしてお招きし意見交換会を行い、この地域の魅力や問題点を直接伺い、地域ブランドをより深める事業を展開してまいりました。また、東海地区に在住の20歳から35歳までの青年を対象とし、海外の文化・風習にふれ、その国の青年との交流を図る研修船「J-C青年の船 とうかい号」を毎年6月に開催しております。

私は前項の事業などを通して、この時代において日本人として必要なものは何かを考える事も多々ありましたがその反面、日本の文化と日本人としての誇りに感謝しました。私達はこれからの次世代に向け、姿勢と誇りを示す事により、これからの「人材」がさらに育成されるのではないのでしょうか。異国の方々との交流は自分を見つめなおし、さらに人と人の「縁」を結ぶ上で欠かせないと考えます。

そして日本を飛び越えて海外で国際貢献をされている方々には、その「志」と「勇気」と「決断」に心から感謝申し上げます。



「Cool Gotemba Oyama」と題した公開例会を行いました

す。そしてその姿勢は私達も学ばなければなりません。またその方々がこの地域に戻られた時はその経験がスキルとなり、新たなリーダーの担い手となると考えます。

結びになりますが、この御殿場青年会議所も明るい豊かな社会を目指し、国際交流を視野に入れ考えうるきっかけを与えて頂きました御殿場市国際交流協会の皆様に感謝申し上げます、また協同して様々な事業への参画をしていければと考えます。今後ともよろしくお願いいたします。

## 学ぶべきは、郷土の「歴史・文化」



御殿場市教育委員会 教育長 勝又 将雄さん

本市においては、毎年各学校から選考された中学生が、オーストラリアへ派遣されホームステイの生活体験をする機会がありますし、家庭によっては子どもが高校や大学だけでなく、小中学生時代から、海外へと短期、長期の留学をさせている現状があります。

日本は、「島国ゆえに」の「他国」イコール「海外」への「あこがれ」にも似た心情が諸外国の人々より強いのもかもしれません。英語に限らず外国語を学習する時の根底には、きっと他国の人と「直接話したい」という願望があります。一方で、その直接相手と話すことが目的となつて、外国語は使えるようになったけれど、肝心の「話題」が貧弱で、ある程度以降になると、本来そこから人間同士の付き合いとなるはずなのに、その会話が成立しなくなるといふ話も聞きます。人としてのお付き合いに不可欠な話題の日常的な「知識」のせい弱さが露呈します。結局、「自国の文化・歴史を知らない日本人」のレッテルを張られてしまい、笑顔の日本人が「気味の悪い笑いを見せる日本人」となってしまう。生活の中で「人として」何を身につけておかなければならないのか。先人の培ってきた知恵をないがしろにしてきた「つけ」ともいふべき若者の醜態と指摘されることもあります。いかなる事情があつても、知恵あるお年寄りを尊敬しない国に、未来はあり得ません。



文化は人が活動しているところに生まれます。今がその歴史の先端にあると自覚しても、「過去を学ばずして未来はない」という言葉をどれだけ実感できるかというと、はなはだ心もとない現状です。国際交流、国際貢献の言葉に付随するのは、「日本を学び、日本人を知り、日本の歴史を素直な心でひも解く」精神だろうと思います。まずは自分の生活を見つめて、そこに根差す地域文化、地域の歴史から、日本という国、世界の国々を見つめていく「学び」の姿勢が求められていると実感します。

小中学校においては、基礎・基本の知識を身につける時期ゆえに、本市では、「江戸しぐさ」を想定した「ふるまい」を意識します。さらに、地域に根差す、わが「ふるさと」の文化伝承を自覚してこそ、求められる国際人としての資格条件がそろうものと考えます。

## グローバルな人材育成を目指して



御殿場西高等学校 校長 勝間田 芳壽さん

2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催は、日本に国民的英語ブームを到来させるのではないかと期待されています。「英語が話せたら」は、個人の願いだけではなく、日本の教育全体の願いとも言えるでしょう。

同じ年、新学習要領が完全実施されますが、この東京オリンピック・パラリンピックを見据え、私としてもグローバル化に対応できる人材の育成、子どもたちの英語でのコミュニケーション能力の向上に、少しでも力添えさせていただけないかと考えています。

世界中で日本製品の技術と品質は高く評価されているにも関わらず、市場での販売シェアでは他国に大きく差をつけられている分野があることも事実です。初めから世界市場を目指しグローバルな視点で戦略を展開してきた他国に、日本は後れを取ってしまったのかもしれない。

同じことは日本の英語教育にも言えると思います。私自身、オーストラ

リアで幼稚園から高校までの「カーディニア・インターナショナル・カレッジ」を経営していますが、英語社会の中で相手を理解し、しかも英語で自分の考えを相手に正確に伝えることの難しさを痛感しています。英語で専門的知識を身につけ、英語でプレゼンテーションができることがとても大切だと思います。

流暢でなくても、発音が英語圏の人のようにできなくてもいいのです。大切なことは、英語は世界共通語だということを改めて認識することで、国際社会の中で自己表現できる英語力を未来のある子どもたちが身に付けてほしいと願います。どんなに高い能力を持っていても、その場所で自分自身で表現できなければ、残念ながら国際社会では認めてもらえないでしょう。今まさに、英語教育は転換期を迎えていると思います。

子どもたちの英語でのコミュニケーション能力の向上には、外国への興味とやってみようとする積極性が重要だといわれていますが、若いうちに海外に行く機会を様々な形で支援するのも一つの方法だと考えます。日本語が全く使えない海外での異文化体験や同世代の仲間との交流から学び得ることが大きな自信となり、今後自分たちがグローバルな社会で生活するためには何が必要とされるのかを学んでくれると思います。

これから、子供たちが世界の中で羽ばたき、世界の様々な分野で活躍する日本人となるよう尽力していくことが、私の国際理解に対するスタンスとなっております。「カーディニア」をぜひ活用してください。

## 御殿場の魅力を広く発信

国立中央青少年交流の家 所長 服部 英一さん

最近、グローバル化という言葉が盛んに使われます。国の枠を超えて、文字通り地球（Global）規模で、モノや人・お金・情報などが行き来する時代が到来しつつあります。

すでに、スポーツや音楽、アニメの世界などは国境を越えています。



日本のアスリートが世界で活躍し、日本の文化に関心が寄せられています。メディアの発達により同時に世界への情報発信も当たり前です。しかし、多くの人々にとって、外国の方々と直接触れ合い、交流を深める機会はなかなかありません。

国立中央青少年交流の家は、仲間との宿泊生活や体験活動等を通じた青少年の教育施設ですが、そんな中、当施設では現在、外国の青少年や指導者との交流機会の強化に努めています。例えば、昨年の夏には当施設を拠点にミクロネシア諸島の子供たちが玉穂小学校の児童と交流し、富士山トレッキング、ホームステイなどの活動を行い、「小さな親善大使」として活躍してくれました。秋にはASEAN諸国出身で日本の大学院で学んでいる留学生と萩原健青会の皆さんが交流し、地元につながる祭囃子で大いに盛り上がりました。そして12月には日韓の大学生による討論会や指導者セミナーを開催しました。

こうした取組で感じるのは、「青少年が同じ場を共有し相互に交流することの意義」と「御殿場の持つリソースの豊かさ」です。昨年、富士山が「世界文化遺産」に登録されました。富士山は日本のシンボルですが、外国の方々にとっても憧れの的ですが、2月にはソチで冬季のオリンピックが行われ、ワールドカップも今年開かれます。全世界のアスリートが集い競い合い、若者たちに夢を育む平和の祭典が続きます。そして、2020年の東京オリンピックの招致も決まりました。御殿場は東京から比較的近いし、豊かな森と大地、澄んだ空気と水、温泉、それにおいしい食、心と身体にとって、こんな素晴らしいロケーションは、他にはありません。自然と文化に恵まれ、世界の人々を迎えるために最高



ミクロネシアの子供たちが玉穂小を訪れ交流

の「おもてなし」が出来るを考えます。

東京オリンピックを契機に外国からのツアー客もさらに増加が期待されます。霊峰富士を仰ぎ見ながら、アスリートや青少年はもちろんのこと、老若男女がスポーツや文化活動など様々な体験を行い、楽しみながら出会い触れ合い、相互に交流し観光するにも最適な場所。そんな御殿場の魅力をもっと広く発信できないものではないでしょうか。

私たちの施設の始まりである国立青年の家は、米軍が使用していたレクリエーション施設が返還されることになった際に、御殿場在住の「根上ツナ」女史が、「富士山を仰ぎ見るこの地ほど清浄と平和を象徴しているものはない、是非とも青年たちが交流し集い、日本の文化を発信する場として活用してもらいたい」との願いから生まれたものです。

グローバル化が叫ばれますが、既に半世紀も前に国際的な視野を有していた先達の叡智に学び、少しでもその思いに近づくため微力を尽くしたいと思っています。

## 介護福祉士を目指して



特別養護老人ホーム「白雪」  
介護員 渡辺アネリー マガリオンさん

私はフィリピンのマカティ出身です。マカティはフィリピンのメトロ・マニラと呼ばれるマニラ首都圏に属する都市です。シティバンク、インテル・フィリピン、マイクロソフト、Nestleなどの企業が多く集まり、高層ビル群が立ち並ぶフィリピンのビジネス首都の位置付けをされています。

私が小学6年生の時に日本のアニメ、「ボルトスファイブ」に出会いました。1978年当時フィリピンで放映されTV史上最大ヒットになりました。夕方の6時になると子供達は必ず家に居て、「ボルトスファイブ」続けて「マジンガーZ」を見ました。「ボルトスファイブ」のアニメソングが好きになって歌詞も覚えました。それで日本の事に興味を持つようになりました。当時から日本の技術は進んでいて日本人は頭がいいと



思いました。

私は大学を卒業して、その1年後の1987年に日本に来日しました。日本に来て最初の印象に残ったのは綺麗な道でした。しかし東京はマカティと同じくらい交通が激しいです。御殿場市で小山町出身の主人と知り合って1991年に結婚しました。2年後に長男が生まれてその2年後に長女が生まれました。結婚してから現在まで小山町で主人のお母さん、妹さんと二世帯住宅で一緒に暮らしています。

もともと料理は得意ではないですが、日本の人と結婚したので日本料理を覚えました。天ぷら、味噌汁、肉じゃが等を作れるようになりました。鯖は日本の魚の種類の中で一番好きです。特に鯖の味噌煮は大好きです。

現在、特別養護老人ホーム「白雪」で介護員として勤めています。高齢者の日常生活の世話をしています。一緒にご飯を食べたり、お風呂に入れたり、体操やゲームをしたり、季節による花見や紅葉観賞、クリスマスイルミネーションと一緒に出かけます。楽しい事もあり大変な事もあります。入社して今年の4月で6年になります。私にとってこの仕事はやり甲斐があり、それから良い仕事仲間がいるからこの仕事を続けていると思います。これからも介護員として頑張ってお年寄りにより良い援助をするために、介護福祉を勉強して介護福祉士試験を受けたいと思います。



介護施設で働く渡辺さん

## 外国人住民が住みやすい日本

外国人の生活相談相談員 中村美香さん



平成25年の富士山世界文化遺産登録もあり、現在の日本には多くの外国人観光客が訪れます。そして沢山の外国人が住んでいます。街中

の看板や施設内の案内表示はその人達に向けた取り組みを多くされていて、日本人はその風景にすっかり慣れてしまっています。

日本に住む外国人のために、国は外国人生活相談窓口や教育の手伝い、または交流イベントや語学講座の開催、さらに地域の安全を図り通訳付きの巡回連絡も以前から行っている状態です。また、色々な分野で役立つ資料や説明書の訳文を備えている場所もあります。

日本では国籍を問わず、長期で滞在する外国人住民は日本人と同じく、全ての権利を得ることが出来ます。この素晴らしい光景が見られるのは、世界中でも日本だけだと思います。日本のそういう取り組みにより、外国人がとっても暮らしやすい優しい国になっていることに間違いありません。

日本に滞在する外国人が増加したのは、約20年前に日系人が仕事を求めて来日したことが始まりです。その後母国から遠く離れた日本で、縁を結んだり家庭を持ったりして、なかなか帰国出来ないのが現実です。

いずれは必ず帰国するという気持ちの人は、日本語教育や習慣または日常に馴染まないことが多く、その結果、近所迷惑やトラブルを起こすことがあります。それは言葉の壁が一番の原因だと思います。もちろん、外国人のなかでも、日本滞在が長く、この国を母国と思ひ、日本語の教育を受けて、そして文化や習慣に馴染み、この国の一員として溶け込んでいる人も多くいます。

最後に、今は、日本のアニメや音楽をはじめスポーツ選手の活躍、そして健康的な和食も世界中に広まっています。これは世界が日本を気持ちよく受け入れているということではないでしょうか。従って、これからはますます、日本に出入りする外国人は増えていくと思います。

世界中から一番好評である日本人の性格やおもてなしは、日本人の最高の文化であり、その誇りが日本に生活する外国人を通じて世界中に広がることを願っています。



## 執筆者

- 御殿場市 市長 若林洋平さん
- 御殿場市商工会 会長 林準さん
- 御殿場農業協同組合 代表理事組合長 杉山正一郎さん
- 御殿場市観光協会 会長 勝又敬夫さん
- 御殿場青年会議所 理事長 永木栄太さん
- 御殿場市教育委員会 教育長 勝又將雄さん
- 御殿場西高等学校 校長 勝間田芳壽さん
- 国立中央青少年交流の家 所長 服部英一さん
- 特別養護老人ホーム「白雪」 介護員 渡辺アネリーマカリオンさん
- 外国人の生活相談 相談員 中村美香さん

執筆者の皆様、貴重なご意見をお寄せいただき、ありがとうございました。

## 編集後記

日々、世界では激動が続いていますが、この中で、政治・経済・文化をはじめ医療・観光・スポーツ等、多くの分野で「国際交流」や「国際貢献」が行われています。世界の人々がますます国際人として一体化していくことを期待したいと思います。

また、私たち日本人としても、2020年に国際的イベントである東京オリンピックの開催に向けて、温かくしっかりとした「おもてなし」の準備も必要になります。そして御殿場市も、富士山が世界文化遺産になったことから、その保全等についても、世界的使命を果たさなくてはなりません。

今後も御殿場市は「観光ハブ都市」として、いっそう国際性を増していくと思います。そのためには市民一人ひとりが、積極的に国際化と国際貢献を進めましょう。

広報部会 一同

## 御殿場市国際交流協会ではこのような活動をしています

皆様の参加をお待ちしています!



ふじ山教室への支援



GIA国際交流フェア



姉妹都市との交流



GIA海外料理講座



機関紙「ゆうあい」の編集・発行



本格ブラジル流バーベキュー シュハスロ・ベルダイロ!





第19回

# 日本語で話す会



平成26年2月23日(日) 玉穂報徳会館 区民ホール

御殿場市教育委員会と国際ソロブチミスト御殿場の協力により、今年も「日本語で話す会」が開催されました。家族と共に諸外国から来日し、市内の小・中学校で学んでいる児童・生徒が、日頃感じていることや経験したこと、遠く離れた母国への思いなどを日本語で発表しました。参観者は、子供たちの真剣でひたむきな発表に聞き入り、心を動かされていました。

## サンサノ ネリーザさん (フィリピン 原里小5年)



### 「私の思い出と将来の夢」

最初は言葉がわからず友だちもいなくて心配しましたが、みんなのやさしい心が私を救ってくれました。たくさん勉強して、将来は看護師になりたいです。

【紹介者】 上田百華さん

「勉強や運動など、たくさんがんばっています。」

## 帰山 アレックス コルデイロさん (ブラジル 朝日小6年)



### 「ぼくの夢」

ぼくの夢は一つ目がバスケットボールの選手になること、二つ目は漫画家、三つ目はヒューマンビートボクサーになることです。人の心を温かくしたり感動させたりして、人の役に立てる大人になりたいです。

【紹介者】 田代恭也さん

「いつも明るく元気で思いやりがあって、たくさん良いところがあるアレックスは、ぼくの自慢の親友です。」

## 森川 雅美さん (ブラジル 玉穂小6年)



### 「日本と外国とのちがいが」

日本とブラジルのちがいについて、たくさん発見しました。ブラジルの人に日本の良さを伝えて、日本人にブラジルの良さを伝えて、ブラジルと日本との橋になりたいです。

【紹介者】 丸山珠代さん

「雅美さんといると自然と笑顔があふれてきました。」

## 花岡 あやさん (ブラジル 南中1年)



### 「わたしが感じた違い」

日本の学校に入った時、授業時間の長いことやたくさんの人が集まる全校集会、運動会などブラジルの学校との違いに戸惑いました。でも今は慣れて、違和感なく学校生活を送っています。

【紹介者】 佳元璃那さん

「一緒にいるときのあやさんは、いつも笑顔が絶えません。」

## ホンビロム タツダナイさん (タイ 御殿場南小6年)



### 「仲間との絆が深まったサマーキャンプ」

とても苦しかったけど南三陸町の友達と声をかけあって、てっぺんに到着した富士登山。1週間一緒に過ごして、仲が深まりました。みんなのこと絶対に忘れないよ。

【紹介者】 成田一真さん

「だれにでも優しく、いつもここにこしていてとっても元気です。」

## 西森 みつおさん (ブラジル 御殿場中1年)



### 「僕のがんばっている事」

がんばっている事の一つ目は友達づくり、二つ目は部活動、三つ目は勉強です。何事もがんばれば、しっかりと成果が出るのがわかりました。

【紹介者】 武藤輝己さん

「まじめで優しいみつおさんとは、お互い目標に向けてがんばっています。」

## 鈴木 メガミ フェルナンダさん (ポリビア 朝日小6年)



### 「日本で学んだこと」

時間がしっかり守られたきちんとした生活、礼儀正しさ、学校で勉強する大切さを日本で学びました。そして、日本のアミーゴ(友達)は私のたからものです。

【紹介者】 芹沢依真さん

「明るく頼りになる友達です。困っている時はいつも助けてくれます。」

## バランシオ イスマエルさん (フィリピン 御殿場中2年)



### 「これからの自分」

僕は高校に行けるようにもっと勉強をがんばりたいです。そして部活(陸上部)で東海大会に行くことが目標です。この二つの事を胸にこれからもがんばりたいです。

【紹介者】 勝又亮太さん

「ズバ抜けた身体能力と柔軟な発想力をもつイスマエルさんは、みんなの人気者です。」



発表者と紹介者の皆さんで記念撮影



進行役

宮下春美さん  
(アルゼンチン)  
御殿場中1年



先輩の話

上村みほさん  
(ブラジル)  
御殿場高1年



ふじ山教室の皆さんと上村さんのダンス



市内中学校6校から10名と特別参加1名が、中学生英語スピーチコンテスト(御殿場市教育委員会と国際ソロプチミスト御殿場の協力により開催)に参加しました。前日に降った大雪で足元の悪い中、実施できるか心配されましたが、無事全員参加できました。

今年度は、西中学校2年生の石田楓さんが“What is the true ‘Omotenashi’?”という題名で、石田さんが考えた本当の意味の「おもてなし」について発表し、最優秀賞に選ばれました。

審査員長の白畑知彦先生(静岡大学教育学部教授)からは、「中学生の皆さんのスピーチでは、自分の言葉でシンプルに表現することが大事です。そして、決してネイティブに近づけなくても、ゆっくり分かりやすく話す方が良いですね」という講評をいただきました。



最優秀賞

石田 楓さん  
(西中2年)“What is the true  
‘Omotenashi’?”

優秀賞

三品 海梨さん  
(南中2年)

“Is It Just a Duty?”



国際ソロプチミスト御殿場特別賞

勝又 将太さん  
(高根中2年)

“The Fun in Study”

昨年度の英語スピーチコンテストで最優秀賞を受賞した南中学校3年南京花さんが、副賞の研修である「中高生English Camp For Global Leadership」に参加しました。この研修は昨年12月26日(木)～29日(日)に御殿場市内のYMCA東山荘で開催されました。

## ECGLに参加して 南京花

このキャンプで私は、他国の環境問題や地雷、また日本の現状などを英語で話し合いました。その中で、地雷についての話がとても衝撃的でした。地雷は、人を殺すためのものではなく、傷を負わせて人々を苦しめるための兵器だと知りました。そして、まだまだ除去しきれず多くの地雷が残り、罪のない子どもまでもが自由を奪われているということも知りました。

私はこのキャンプで、世界の問題に目を向けることができるようになったと思います。平和な日本に住んでいる私に、何かできることはないかと考えさせられました。そして、一人ひとりが行動していくことも大事なことだと学ぶことができました。

## お知らせ

平成26年度  
御殿場市国際交流協会総会  
平成26年の協会の活動方針を定めます。  
日時  
平成26年4月19日(土)  
午前10時～  
会場  
YMCA東山荘1号館 会議室

## 活動予定

海外料理講座「インド編」  
日時  
平成26年6月1日(日)  
会場  
御殿場市民会館 調理室  
※詳細は後日広報などで  
お知らせします。

## ホストファミリー募集!!

6月末に、姉妹都市であるアメリカのオレゴン州ビーバートン市より、高校生10名と引率者1名が御殿場市を訪問します。そこで彼らを受け入れてくださるホストファミリーを募集します。詳しくは下記にある事務局までお問い合わせください。

## 御殿場市国際交流協会(GIA)事務局

〒412-8601 御殿場市萩原483(御殿場市役所1階 市民協働課内)  
TEL : 0550-82-4426 / FAX : 0550-81-6439  
E-mail : gia@mail.wbs.ne.jp  
URL : www.city.gotemba.shizuoka.jp/gia/

## あとかき

今回「私が思う国際交流・国際貢献」というテーマで特集を組みました。市民の皆さんが国際交流や国際貢献について考えるきっかけや参考にしていただきたいと思います。 KO